

基礎ゼミ「少子高齢化社会の家族」

第2講 本の読みかた (1): 速読

田中重人 (東北大学文学部准教授)

[テーマ] 読書記録と速読の方法

1 本を読むモード

- 速読 (今日やること)
- 精読
- 批判
- 利用

2 課題

各自もってきた本について、次のことを議論する

- 主要なキーワードとその意味
- 章や節がどのような組み立てになっているか
- 自分にとって参考になること (あるいは面白い発見) はどれか。その根拠となるのは何か

3 書誌情報

- 書誌情報をどこから採るか (奥付の利用)
- シリーズ・叢書など
- 版
- 目次・索引・序文など
- 初出・履歴の情報

文献の情報 (書誌情報: bibliography) をどう書くかについては、分野ごとに慣習が違う。社会科学系では、日本語の本の書誌情報についてはつぎのように書く慣習の分野が多い。

著者 (出版年) 『書名』 出版社 .

シリーズ名や版表示などをつける必要がある場合は、書名の閉じかっこ』のあとに () でくくって示す。

4 読書メモと情報の整理

- 読みながらの記録 (付箋・書き込みなど)
- 目次への書き込み
- カードなどへの記録と保存

5 速読の場合に読みとるべきこと

- 部や章の構成と、各章の役割
- キーワード
- 問いと答えのセット
- 根拠の基礎となる理論やデータ

6 キーワードを抜き出す

- その本のなかで重要そうな単語や句
- 意味と用例
- 専門用語か; どの分野で使うことばか
- 類似語との異同
- ほかのキーワードとの関連

章ごとに3つ以上抜き出してみる

7 段落

学術的な文章では、段落 (paragraph) が基本的な構成要素となる

- 通常、ひとつの段落にひとつの主題 キーセンテンスを見つける (最初にあることが多い)
- 段落をいくつか組み立ててひとつのセクションができる セクション内で最重要の段落はどれか?
- 段落がうまく構成されているとは限らないので注意

8 読書から読みとること

- その本の主張したいこと
- 自分の研究にとって役に立つこと

研究が進むにしたがって、後者の比重が大きくなる。

9 次回の予定: 図書館見学

- 13:00 に図書館入口に直接集合
- 学生証 (図書館入館証) をもってくる

見学内容と目的:

- (1) 1号館の配置を理解する
- (1) 2号館の官庁統計等と雑誌の配置を理解する
- (2) 書庫の使いかたについて講義と見学
- (3) 書庫で分類番号から関心分野を探し、書棚から自分の関心のあった図書を選ぶ
- (4) 図書貸出
- (5) 借り出した図書について意見交換